

設楽の城峯めぐり

菅沼城編



菅沼城 全景

菅沼氏は設楽町を代表する豪族であるため、今回菅沼氏発祥の菅沼城を紹介する。

この城は、旧作手村の菅沼集落中心部に位置する丘陵地に築かれた館城である。菅沼川と小段戸川の合流部に突出する尾根の中心部に、東西四〇メートル、南北二五メートルの規模で、南側を除く三方を土塁と堀で囲み、北東に櫓跡が残る。北側は約二〇メートルの急斜面が菅沼川に落ち込み、南側は緩斜面が水田地帯に続く簡素な構えである。

菅沼氏の興りは諸説あるが、土岐氏の庶流である菅沼信濃守定直の居城といわれ、永享六年（一四三四）將軍命により、この地で戦功を挙げ、その褒賞として当地を拝領した。嫡子定成が家督を継承し、弟満成は荒尾に岩古谷城を築き、荒尾菅沼氏となる。その後、定成は田峯に進出し田峯菅沼氏となる。

（愛知県文化財保護指導委員

加藤 博俊）